

## 花の美しさと、 親しまれる公園の風景

公園内は多種多様な季節の花が咲く場所としても親しまれています。なかでも約15種140本が咲き誇る初春の梅、晩春の藤、初夏の紫陽花などの美しさは多くの人を惹きつけ、シーズンになると大きなカメラを抱えた愛好家が足繁く通うことでも知られています。秋には開園以来毎年菊華展が開催され、趣向を凝らした作品が公園内を埋め尽くします。

また、島郷海岸に足を延ばすと、ハマヒルガオやハマエンドウの素朴ながらも愛らしく小さな花があたりを染め、私たちの目を楽しませてくれるばかりか、仄かに鼻をくすぐる香りで季節の訪れを知らせてくれます。

市では花々をはじめとした庭園としての魅力を広く発信するため、神奈川県立恩賜箱根公園・御殿場市の秩父宮記念公園・三島市立公園楽寿園と連携し、周遊性の向上等につとめています。魅力的な体験や交流を創出するこの取り組みは、全国でわずか8例しかない、国交省が推進している「ガーデンツーリズム登録制度」に登録されています。日常に目を向けると、市の木である松から漏れる陽ざしが穏やかな日には、近くの幼稚園の園児たちがお弁当を広げてピクニックをしたり、海岸沿いの散策路を仲睦まじく散歩する老夫婦の姿がみられるなど、観光的な側面だけ

<右ページ>

1. 白梅、紅梅などの梅。例年、寒梅茶席が開催
2. 藤の花は5月上旬頃が最盛期
3. 公園を彩る梅雨時期の紫陽花
4. 雄大な富士山を望む島郷海岸。清掃イベントの様子
5. 園児たちがピクニックするのどかな風景
6. 松籟の宴で特別開放となった夜の西附属邸

<左ページ>

7. 昭和の日イベントでハーモニカ等の演奏をする愛好家の皆さん
8. 皇室のレシピを再現した特別な料理やグルメを提供した「皇室の愛した御用邸グルメフェア」
9. 夜の御用邸を提灯でライトアップ
10. 主馬前広場の特設ステージで披露された、本格的な「新能」
11. 多くの人を惹きつける、高校生による和太鼓の演奏(飛龍太鼓)
12. 西附属邸等で不定期に開催される、作家による絵画展
13. つるし雛など桃の節句飾りや五月人形など端午の節句飾りは西附属邸の風物詩



でなく、暮らしに溶け込んだ憩いの場としても利用されています。

公園内には遊具や水遊び場などはありませんが、広い年代、多様な趣味趣向の人たちを懐深く受け入れてくれます。昨年5月の改元の際に行われた島郷海岸と御用邸園地内の清掃活動に、子供からお年寄りまで千人を超える市民の皆さんが集まったことから、この場所が多くの人に愛されていることが伺えます。

### 広がっていく魅力とともに

市では沼津御用邸記念公園の魅力がさらに広く浸透するように、市民の皆さんをはじめとした多くの人に向けて、古きを尊びつつ、新しい楽しみ方の提案に取り組んでいます。

代表的な催しのひとつが、秋口に開催される「松籟の宴」。昨年度は夜の御用邸を楽しむライトアップと西附属邸の特別開放、松に囲まれた庭園で皇室の雰囲気を感じながら飲食を楽しむことができる皇室の愛した御用邸グルメフェア、改元記念特別公演など、この時期にしか体験できない企画を実施しました。イベント当日には家族連れやカップルで足を運ぶ人たちも多くみられました。

沼津御用邸記念公園は、その成り立ちや歴史的・文化的な価値から、比較的年輩の人たちの来園が多く、静かなのどかなひとときを楽しめる場所です。それに加えて、高校生による活動披露

など、賑やかな声が響きわたるような世代を問わない利用のされ方も増えつつあります。「温故知新」、そのどちらにもかなう大きな包容力を持ち、利用する人の想いやアイデア次第で様々な楽しみ方ができる、市内では他に類をみない公園です。

本年10月10日から11月22日までの期間には、沼津御用邸記念公園開園50周年記念事業として、旧御料車である「ニッサンプリンス・ロイヤル」の特別展示や、雅楽師の東儀秀樹さんを招いてのスペシャルコンサートなど、様々な企画を予定していますのでどうぞご期待下さい。

御用邸造営から120年余り、そして公園開園50年の時を経た今もなお、私たちのそばにあり続け、訪れる人の心を癒してくれます。

節目のこの機会に、皆さんも沼津御用邸記念公園をもっと楽しんでみませんか。そのために、まずはご自身で、できることなら四季を通してその魅力を体感して下さい。皆で沼津の誇りであるこの場所の素晴らしさを市内外に、そして世界に発信していきましょう。

